



不言実行

おじま
小嶋ひろき

40歳、二児の父

声を聞き、かたちにする。
「まじめ」な政治で地域を豊かに。

発行：小嶋ひろき
発行日：2026年1月1日

TEL 050-1792-3160
メール ojimahiroki291@gmail.com

日々の活動報告は公式ホームページ
または各SNSから

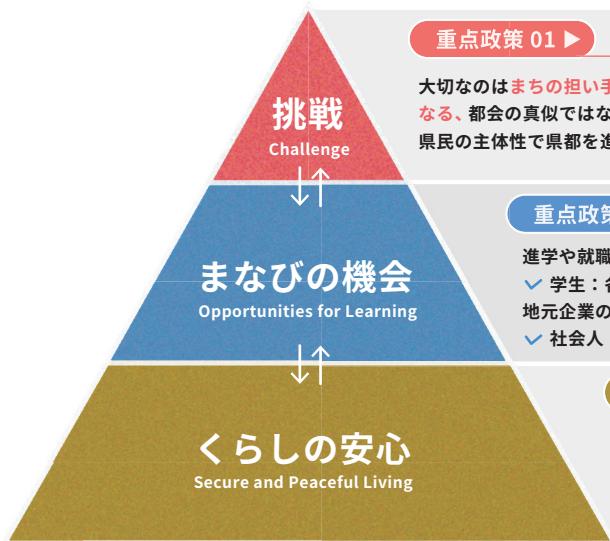


*このチラシは、小嶋ひろきの活動や考え方を紹介する個人的な発行物です。
その他の組織・団体等とは一切関係がありません。

【政策方針】県民のくらしを守り、まなびと挑戦を支える

小嶋ひろきが目指す
ふくいのすがた

福井には、決して派手なことはしていないくともコツコツじめに生きている人たちがたくさんいます。私は、そのような県民の暮らしの安心を強化し、未来の選択肢を増やす学びの機会を増やすことで、誰でも大小問わず前向きな挑戦をしたいときにしやすくなる福井をつくります。



重点政策 01 ► 県都まちづくりのチャレンジ支援

大切なのはまちの担い手が起業やまちづくり事業などにチャレンジしやすくなる、都会の真似ではない福井らしい環境づくり。それらの支援強化を図り、県民の主体性で県都を進化させます。



重点政策 02 ► 進路・仕事の選択肢の充実

進学や就職での選択肢が充実した福井へ。
✓ 学生：各学校の特色強化と地域や企業と連携した探究学習の促進により、地元企業の就職選択肢を増やすことなどを進めます。
✓ 社会人：新たなスキル習得など学び直しの支援を強化し、就職・雇用の可能性を広げます。



重点政策 03 ► 地域交通インフラの強化

高齢者・学生・障がい者・観光客などで車を持たない人が困難な状況に追い込まれない福井へ。交通手段の維持への積極支援に加え、新たな技術を活かした他県ではすでに定期運行まで進む自動運転バスやデマンド交通などを推進します。



小松市で定期運行する自動運転バス

挑戦を支える政策

- 企業・雇用** 地元企業の事業強化や県外企業の誘致を促進し、企業の挑戦支援による雇用の選択肢の拡大を後押し。
- 全天候** 夏は高温・冬は雨雪の多い福井において、既存施設なども活用して、屋内で運動可能な場所や屋内の子どもの遊び場を増強。
- 子育て** 共家事・共育児がしやすくなる支援制度を推進し、ママ・パパそれぞれが自分らしく生きやすい福井へ。
- 一次産業** 食料自給率の向上を目指して、農業・漁業・畜産業などの補償や、生産性を上げる資機材(スマート農業など)の導入補助を強化。
- 新幹線** 現在の開業効果を最大化する観光振興策を推進しつつ、一刻も早い京都・大阪までの全線開業を目指し、地方にいても挑戦しやすい広域交通を整備。
- アリーナ** 丁寧な対話により課題や需要を把握し、その解決や県民が求める使い方の可能性を広げるような整備の議論を進める。

まなびの機会を増やす政策

- 社会教育** 年齢を問わず学び直しや知的探求の機会を支援。就業目的に限らず、生涯学習による知的健康増進を図る。(「ふくまち大学」の強化など)
- 学校教育** 小中高一貫して探究学習を推進する。その中でも地域の商店や農家、様々な地元企業との実践的連携を強めて体験を増やすことで子どもたちの進学・就職それぞれの視野を広げる教育政策を促進。
- 職業教育** 県内に多数ある職業系高校の魅力化・強化を図り、専門的・実践的な知見を得たい学生の機会を充実させ、県内企業での専門人材の活躍の可能性を増やす。
- 部活動** 地域移行に伴う家庭の負担増加を抑制する支援を図り、子どもたちの学習以外の経験の機会を守る。



くらしの安心を強化する政策

- 人口減少** 徹底的な子育て支援・負担軽減により、「子育てしやすい福井」としてこの世代の福井定着を促進。
- 子育て** 学校の長期休暇期間の子どもの預かり場所・滞在場所を増強。シニア世代の雇用にも繋げる。
- 学校** 体育館などのエアコン設置を促進し、安心して運動しやすい環境を整備。
- 健康** 未病・予防の徹底推進(フレイル予防など)。特に食習慣・運動習慣の改善促進の政策強化。
- 医療福祉** 病院・介護・保育などの過酷な現場への支援を充実させ、離職の防止や働き手の確保。
- 障がい** あらゆる障がいについて、当事者との交流や当事者目線を体感できるような機会を拡大し、必要な環境整備へ繋げる。
- 食・農** 伝統食や地産地消の物を食べる機会(食育)を増やし、減農薬や有機(オーガニック)栽培を促進し、身体・環境への負荷低減を目指す。
- 山林** 山林の荒廃を食い止めるために、間伐材の利用促進などを強化する。
- 道路** 福井市中心部の慢性的な渋滞解消も念頭に、8号線以外の幹線道路の増強推進。
- 防災** 行政だけで対応しきれない大災害に備えて、各地域の防災意識&対応能力を強化する政策の促進。



あなたの「対話」で政策を進めることを、お約束させてください

私は、100点の政策というものはないと思っています。だからこそ、これから県民のみなまと対話を繰り返し、その声をもとに常に政策をより良いものに改善し続けたいと思います。

- 約束 01 ►** 立場などによらず、どなたでも参加可能な「語る会(対話集会)」を継続開催いたします。

- 約束 02 ►** どのような状況の人でも声を届けられるよう、私のホームページやSNSなどを常にオープンに相談窓口として機能させます。



HISTORY

まじめ一徹・小嶋ひろき(40)のこれまで

1985

誕生 活発な少年期、寡黙な思春期

福井市で食品販売業を営む両親と姉の4人家族で育つ。

中藤小学校、灯明寺中学校と進む。小・中学生の間はボーイスカウトに入隊し、

野外活動を楽しむ活発な少年時代をすごす。

中学からは剣道部に入部。思春期以降は話すよりも聞くことが好きな性格になり、

文武に黙々と取り組む。



2001

剣道一筋 6年、学業に全力投球

塾には通わず家庭学習に励んで藤島高志学校群(当時)に合格し、高志高校に進学。

「サボらない」を信念に中学から6年剣道部を続け、高校3年で北信越大会に団体出場。

夏の部活引退後、やはり塾には通わず家庭学習で第一志望だった福井大学工学部に合格。



2004

学費は自分で稼ぎ、成績も維持

家庭への負担を減らすため、学費は全てアルバイトで稼ぐことを決意。

それでも「学業はおろそかにしない」と決めて

4年間高成績を維持することができ、大学院に推薦合格する。

この頃から、どんなことも「まじめ一徹」で努力・継続できる自負が生まれる。



2016

Uターン就職、家業と子育てに奮闘

石川県の企業に就職し、システムエンジニアとして生産管理システムの開発を行う。

結婚後は妻や子どもと一緒に過ごす時間を大切にするため、福井へUターン。

家業の食品販売業に従事するとともに、料理や掃除などの家事にも関わり、

日々の暮らしの中で、自分が理想とする家族のかたちを築く。

子どもとの時間を大切にし、土日は公園へ出かけたり、

一緒に遊んだりしながら、何気ない日常を楽しむ。

スポーツ少年団に入った子どもたちの送迎や応援も、家族の成長を感じられる大切な時間。

家業では苦手意識のあった営業職に挑戦し、とにかく足を使ってコツコツと

お客様の信頼を積み重ねていく。



2021

地域活動が本格スタート

コロナ禍で活動が制限され、自分の世界を広げたいという想いで商工会議所青年部に入る。

与えられた役割を黙々と果たすことで信頼を得ることができ、

「ひとづくり委員会」の委員長を拝命する。

主に県内の高校生のための探究学習をコーディネートし、

若者や県民が学び続け挑戦できる地域社会をつくっていきたいという強い想いが芽生える。



2025

県政への挑戦を決意

現場体験型政治スクール「ふくいの塾」に参加する。

地域の声を大切にし、地域の方と対話し、市民に寄り添った政策を決めていく姿に共感。

様々な政治家、塾生、地域の方と対話を重ねていくにつれ、

「県民の誰もが声をあげ、チャレンジできる、そんな前向きな福井に変えていきたい！」

と思い、県政に挑戦することを決意。

不言実行を掲げる小嶋ひろきさんを応援しています。



大連 達揮
(株)akeru 代表取締役

数年前、福井県主催の交流イベントで出会って以来、実直さは変わらぬまま。小嶋さんは人々の心の奥の悩みや葛藤に寄り添える人柄です。言いづらい声や「言つてもなあ」という思いまで県政に届けてくれる人。政治を縁遠く感じている人にこそ、小嶋さんを応援していただきたいです！



宮田 由紀恵
ラーナニーニャ 代表

小嶋さんは真面目一徹な方で、何事に関しても最後までやり遂げてくれる能力を併せ持った方です。政治の世界でも、教育をはじめとする地域課題に真摯に向き合い、福井県をよりよいまちにしてくれるものと確信しております。



田中 俊之
くにみくらげ公民館 館長

教育に対して熱い想いと覚悟を持った小嶋さん。子どもたちが「福井で育つて良かった」「日本に生まれて良かった」と誇りを持ってくれる、そんな未来を築いてくれる事を期待しています。



大谷 隆将
会社員／同級生

いつもひたむきに物事へ向き合い、どんな場面でも全力を尽くすオジー。他人を騙すようなことはできるはずもなく、また、横着や卑怯な振る舞いとは無縁で、誠実さを何より大切にしています。志を同じくする優秀な仲間にも恵まれ、信頼の輪を広げてきました。間違ひなく、地域が今まさに必要としている人物です。



山岸 保喜
(株)山岸和紙店 専務取締役

小嶋君とは福井商工会議所青年部(福井YEG)と一緒に活動をしており、とにかく「真面目・誠実」という言葉が当てはまる人です。福井の子どもたちの将来を真剣に見据え、県政に新しい風を吹かせてくれる人は小嶋君だと確信しております！



元井 俊介
製造業会社員／同級生

小学校からの幼なじみの彼は、「不言実行」を体現。派手さではなくとも黙々と成す人。剣道で鍛えた精神力とSEで培った課題解決力を武器に、課題に向き合い粘り強く行動し続けます。言い訳せず行動で示す彼なら福井を前に進めてくれる。ご支援お願いします。



前田 佐知子
会社員

この挑戦を「皆が応援してくれた」と涙した小嶋さん。言葉だけでなく実行で示す彼なら未来を託せます。今回は彼だけでなく、閉塞感を打破し子どもたちに開かれた福井を渡す、私たち「全員」の挑戦です。彼と共にワクワクする未来をつくりませんか。私たちも本気で挑みます！



安東 友香
主婦

小嶋さんは子ども目線で全力で遊び、優しさと責任感にあふれる人。子どもの未来に本気の覚悟を持ち、政治の敷居を下げて身近にしてくれると信じています。幅広い声を聞き実行する力に期待しています。若い力で福井の未来を変えてくれる小嶋さんを心から応援します。



小嶋 彰
大高醇素福井販売代表／
ボイスカウト福井第21回カブ隊隊長

彼が親として子ども達の未来を考えたとき「このままで良いのだろうか?」いや、福井県の未来を変えていきたい！」そう思ったと強く話してくれました。今回頂いたこの機会がそれを実践する第一歩です。この40年間、決めた事は必ずやり遂げてきた姿を何度も見てきました。ご支援のほど、よろしくお願いします！



杉本 和範
小浜市長

政治は、市民のものです。小浜市で市民が勝ち取ったあの日から、小浜は変わりました！次は、福井市で。小嶋さんは、街中歩きます。声を聞き、共に考えます。国政政党に属していないことは、支援母体は市民おひとりおひとりだということです。小嶋さんが私たちとともに活動できる未来を、ぜひ一緒につくらせてください。



酒井 ゆきこ
鯖江市議会議員

芯がある人。今の政治家に必要なのは、自分の芯をぶらすことなく、市民の声をカタチにできることです。小嶋さんにはそれが備わっています。「まじめ」にまちや子どもたちの未来について考える彼には、期待しかありません。小嶋さんが私たちとともに活動できる未来を、ぜひ一緒につくらせてください。



山岸 みつる
福井県議会議員／地域政党「ふくいの党」代表

「まじめが取り柄」とのことですが、物事に対して本気でまじめに向き合い続けることが実際どれだけ大変なことか。特に政治において、市民を裏切らず、大変なことからも逃げずに言ったことを地道に一歩ずつ実行していく姿勢が何より大切。これまでの付き合いから自信をもって断言します。小嶋さんはまさにそのような人です。



小嶋 ひろき(おじま・ひろき) プロフィール

1985年11月、福井市生まれ。妻・2児と福井市(高木北)に在住。高志高校、福井大学工学部卒業、同大学院修了。システムエンジニアとして勤務後リターンしたのち、家業である食品販売業に従事。福井商工会議所青年部ではひとづくり委員会の委員長を務め、県内中高生の探究学習に関わるなど、数々の地域活動に取り組む。

自他ともに認める「まじめが取り柄」の40歳。

県民の声を聞き、挑戦を支えます。

私は「まじめだけが取り柄」で、いつも裏方を担ってきました。

しかし、それを不服に感じたことはありません。表に立って挑戦・活躍する仲間たちや若者たちを応援し、その笑顔を見ることが何よりも幸せだからです。

地域での活動を通じて、次は私が表に立つ覚悟が生まれました。寡黙で口下手ですが、県民の声を聞き、「不言実行」を貫き通し、閉塞感や諦めを打破できる愚直なリーダーを目指します。



応援いただける方は
こちらを登録！